

民間シェアサイクルによる実証実験の取り組み状況について

1 主旨

区では、民間シェアサイクルによる区民の移動利便性の向上効果や区コミュニティサイクル（がやリン）との相互補完の可能性について検証するため、二子玉川を中心としたエリアで官民連携による実証実験を行っている。

令和2年4月より開始した実証実験が1年経過したことから、現時点の利用状況等について報告する。

2 実証実験の概要

(1) 実証実験期間

令和2年4月1日～令和4年3月31日（2年間）

(2) 運営事業者

OpenStreet 株式会社（展開事業名：ハローサイクリング）

(3) 区内のステーションの数

	ステーションの数	ラック数
実証実験開始直後（令和2年4月）	53箇所（14箇所）	282台
現在（令和3年3月末）	81箇所（13箇所）	639台

（ ）内は区有地におけるステーションの数

3 利用状況の概況

別紙1のとおり

4 事業者による利用者アンケートの結果

別紙2のとおり

5 今後の進め方

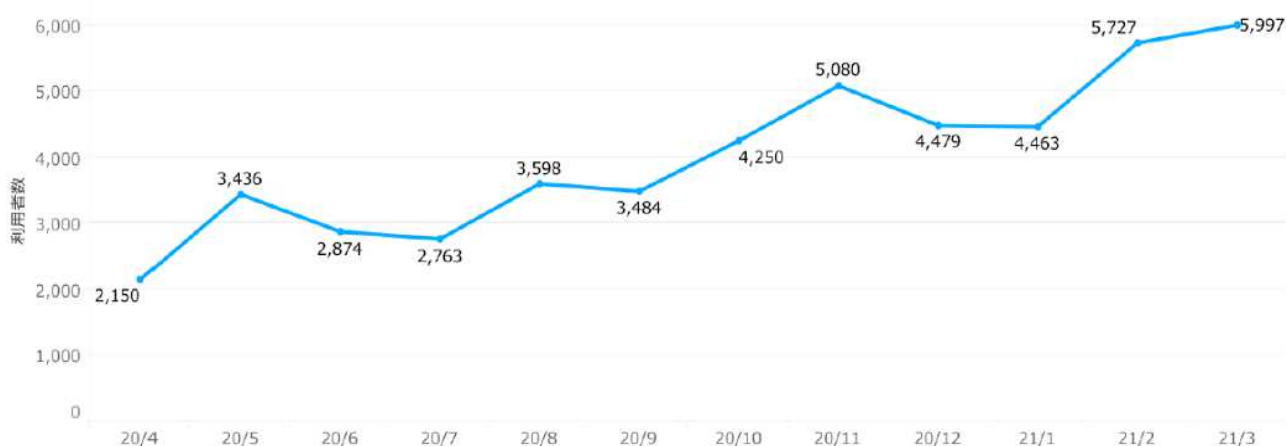
- ・ 民間シェアサイクルが区民の移動利便性を向上させる新たな交通手段のひとつとして定着できるよう、ステーションの拡大を支援するなど、普及促進に努める。
- ・ コロナ禍において利用実態の把握を継続して行うとともに、区民の移動利便性の向上や、区のコミュニティサイクルとの相互補完の可能性について検証を進める。
- ・ 区民の円滑な移動手段を継続的に確保するため、事業の持続性や周辺市区の実証実験の状況などにも注視しながら、実証実験終了後の対応について検討を行う。

利用状況の概況について

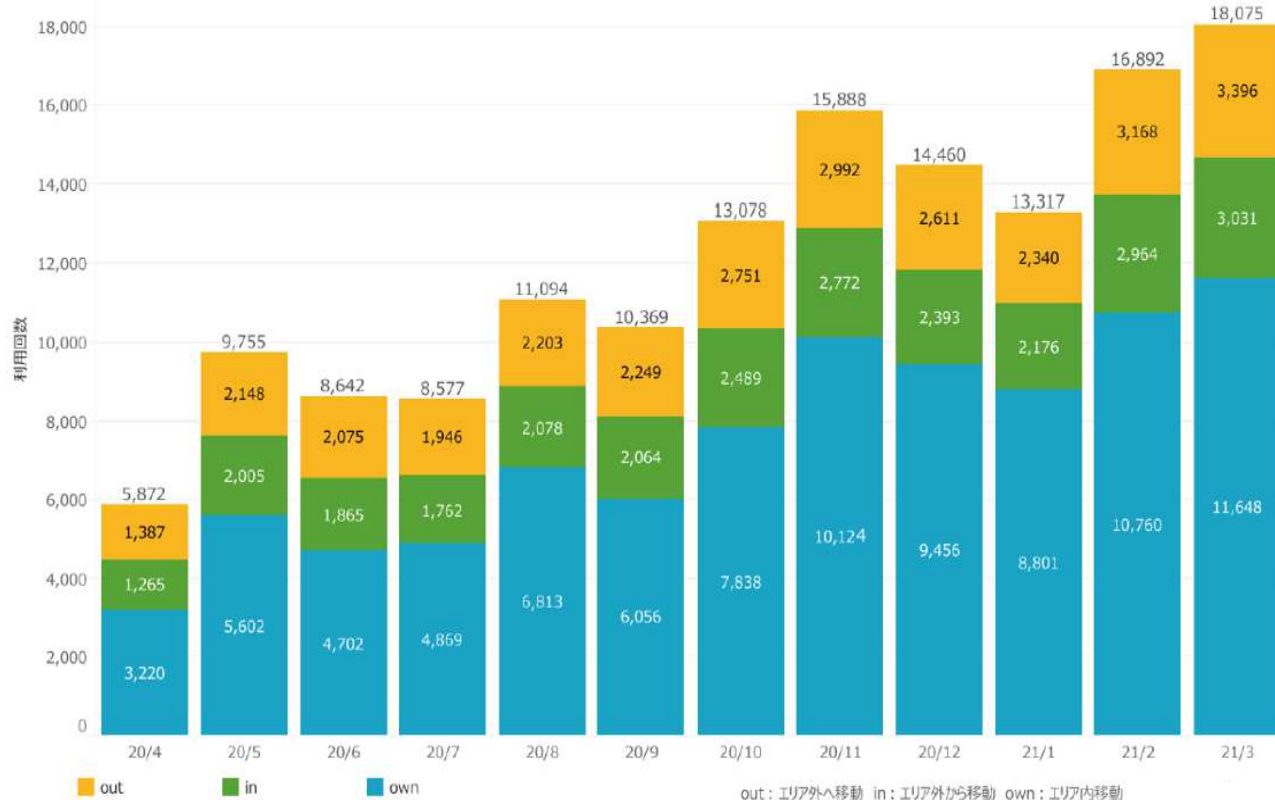
1. 利用者数・利用回数について

- ・ 令和3年3月時点の状況を実証実験開始時の令和2年4月時点と比較すると、利用者数は2,150人から5,997人へ、1か月あたりの利用回数は5,872回から18,075回へと約3倍になった。
- ・ 区境を越える利用が毎月35%前後あり、1/3以上は区外との往来で利用されている。

【利用者数推移】



【利用回数推移】

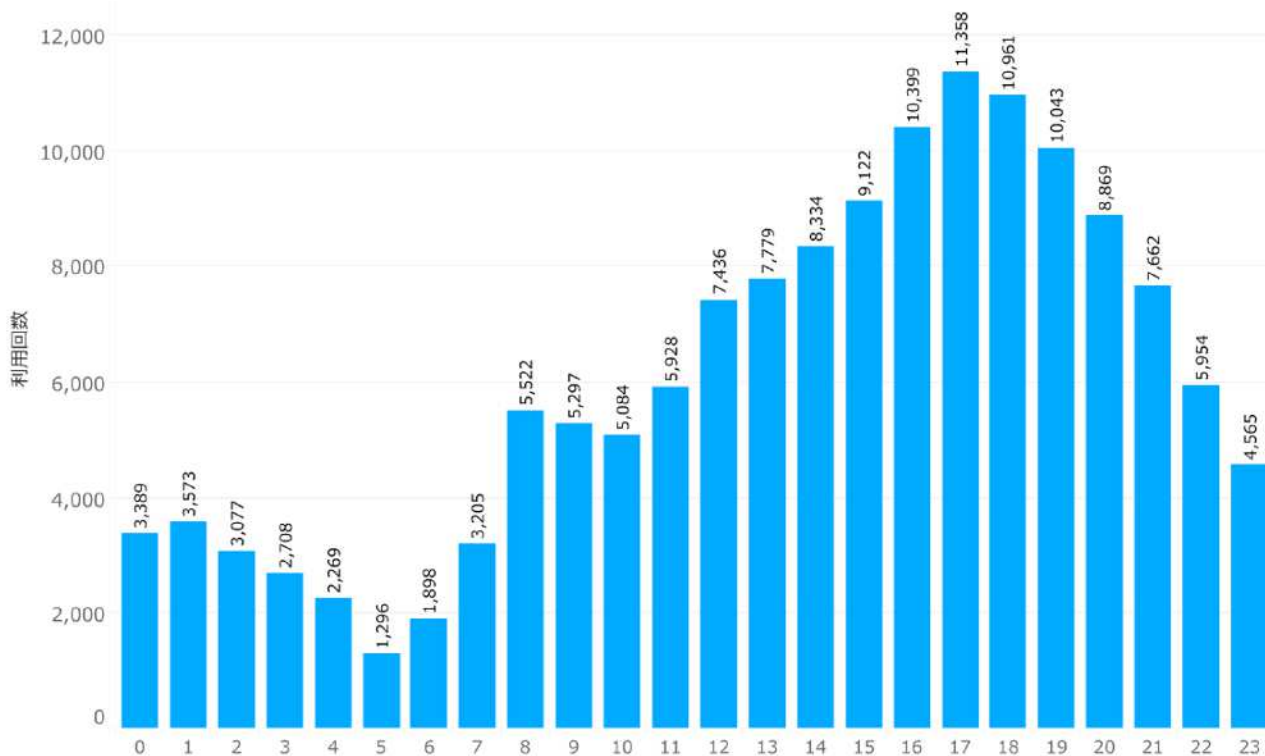


2. 利用の特徴

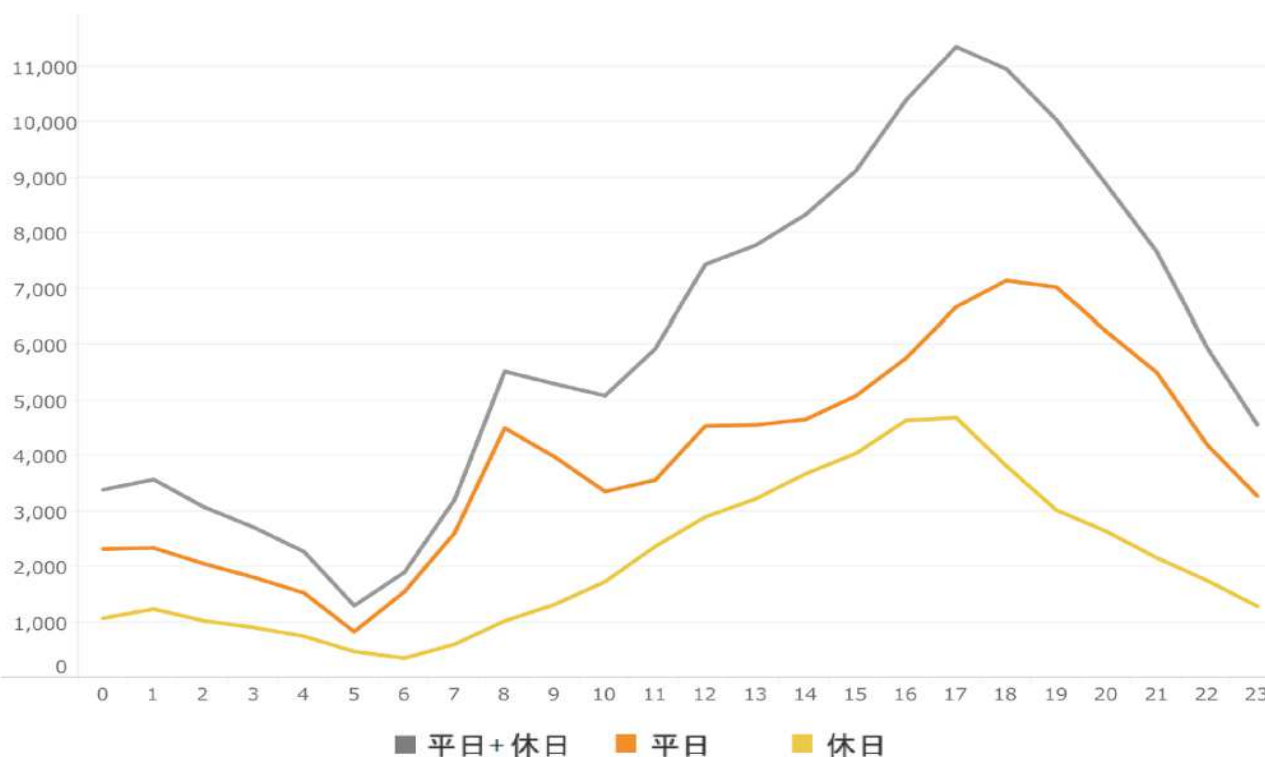
(1) 利用時間帯について

- ・ 時間帯としては午前よりも午後から夕方にかけての利用が多く、1日あたりの利用回数は平日よりも休日の方が多い。

【時間帯別利用回数】



【平日・休日時間帯別利用回数】

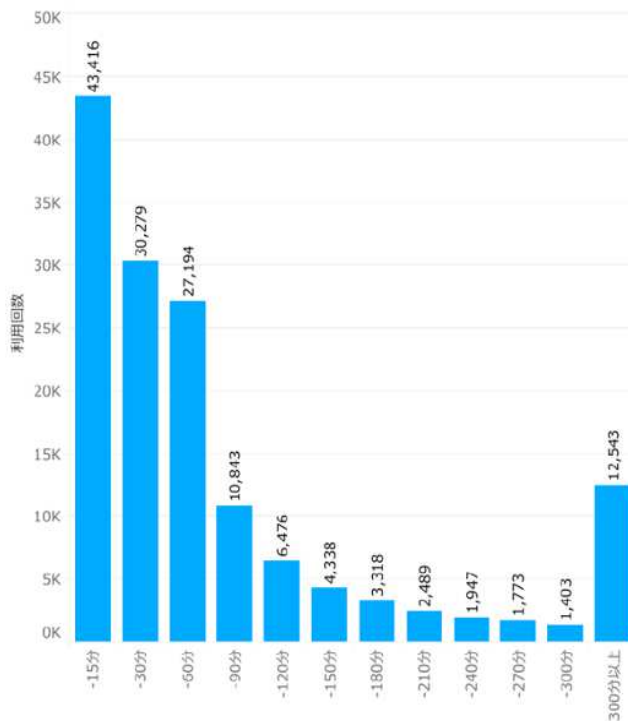


(2) 利用時間・利用距離について

- ・ 利用時間は60分以内が約7割、貸出/返却ポート間の直線距離は2km以内が約5割であり、比較的短時間・短距離での利用が多い。

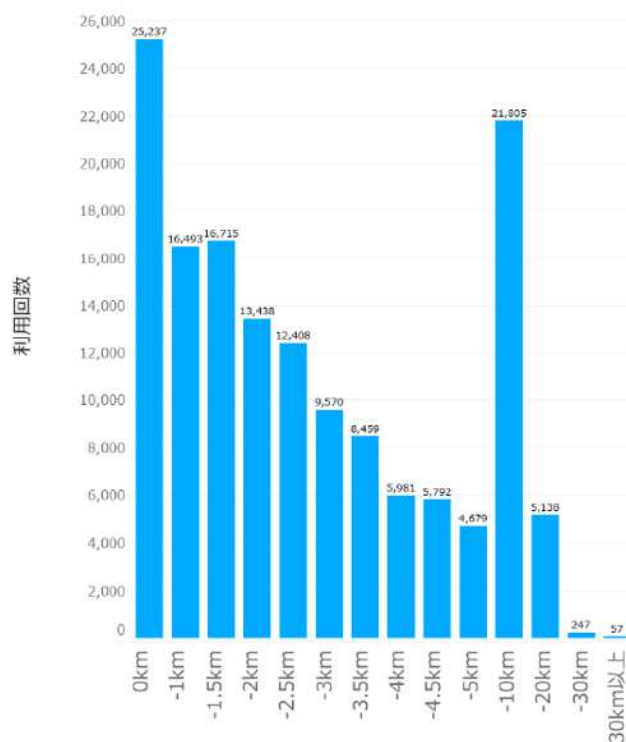
【利用時間構成】

利用時間	利用回数	構成比
-15分	43,416	29.73%
-30分	30,279	20.74%
-60分	27,194	18.62%
-90分	10,843	7.43%
-120分	6,476	4.44%
-150分	4,338	2.97%
-180分	3,318	2.27%
-210分	2,489	1.70%
-240分	1,947	1.33%
-270分	1,773	1.21%
-300分	1,403	0.96%
300分以上	12,543	8.59%



【直線距離構成】

直線距離..	利用回数	構成比
0km	25,150	17.26%
-1km	16,493	11.32%
-1.5km	16,715	11.47%
-2km	13,428	9.21%
-2.5km	12,401	8.51%
-3km	9,547	6.55%
-3.5km	8,415	5.77%
-4km	5,947	4.08%
-4.5km	5,787	3.97%
-5km	4,668	3.20%
-10km	21,751	14.93%
-20km	5,124	3.52%
-30km	245	0.17%
30km以上	57	0.04%



貸出・返却ステーション間の直線距離ごとに利用回数を集計した値
同一ステーションでの貸出・返却は0kmとして集計

(3) 利用状況について

【自転車の貸出返却マップ】



(参考) ステーション別の利用状況 (貸出と返却の合計/令和3年3月分) 上位5か所

	ラック数	利用数(回)	一日平均(回)
すき家 二子玉川駅前店	22	2,559	82.5
ファミリーマート 三軒茶屋駅前店	14	1,175	37.9
成城コルティ南駐輪場前	7	1,066	34.3
小田急マルシェ千歳船橋2シュープラザ前	7	801	25.8
経堂コルティ駐車場横	10	772	24.9

区有地における利用状況 (上位5か所)

	ラック数	利用数(回)	一日平均(回)
大蔵運動公園	16	565	18.2
砧総合支所	11	466	15.0
大蔵地区会館	4	383	12.3
宇奈根地区会館	5	369	11.9
二子玉川公園	16	363	11.7

事業者による利用者アンケートの結果について

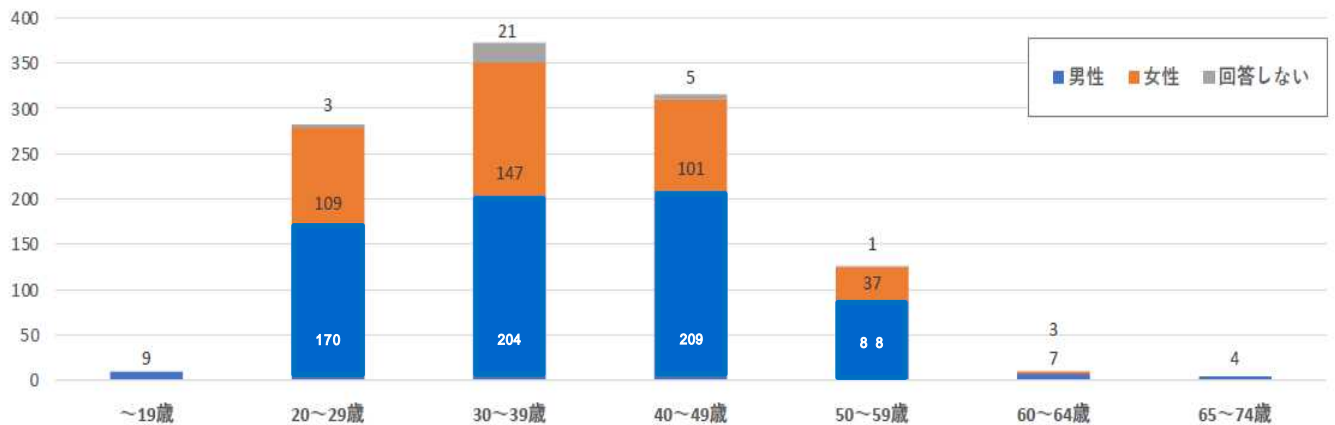
1. アンケートの概要

対象者	区内のステーションで貸し出し、返却したユーザー
回答者数	1,118人(うち世田谷区内居住者は44%)
実施時期	令和3年2月
調査方法	WEBによる回答
調査内容	利用目的、利用頻度、利用理由ほか

(回答者の属性)

年齢は30代が最も多く、20～40代で86.7%を占めている。
また、男性利用者の回答が61%と、年代や性別にはやや偏りが見られる。

【年齢×性別】

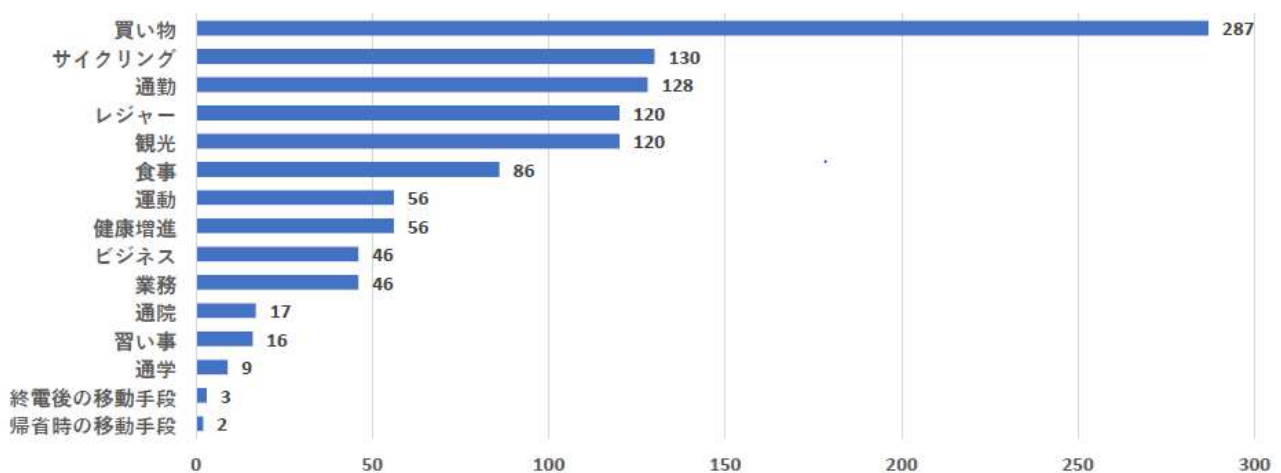


2. アンケートの結果(世田谷区民の回答のみ)

(1) 主な利用目的

- 利用目的は、買い物などの日常利用に次いで、サイクリング、通勤が多い。

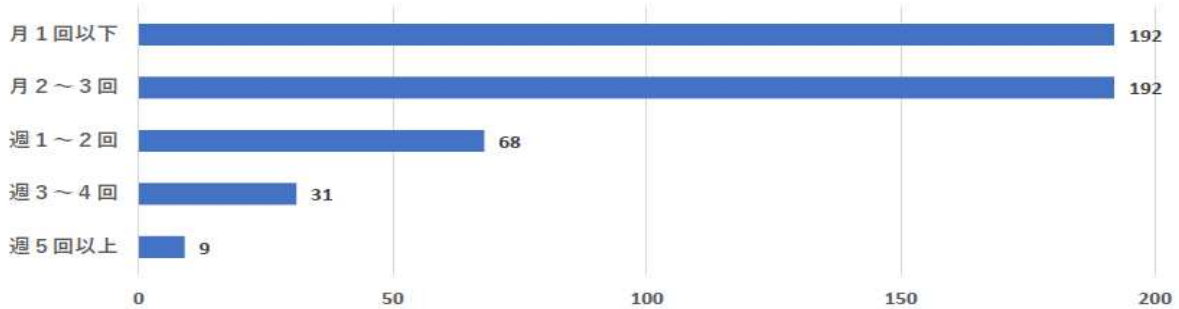
【主な利用目的】 複数回答可



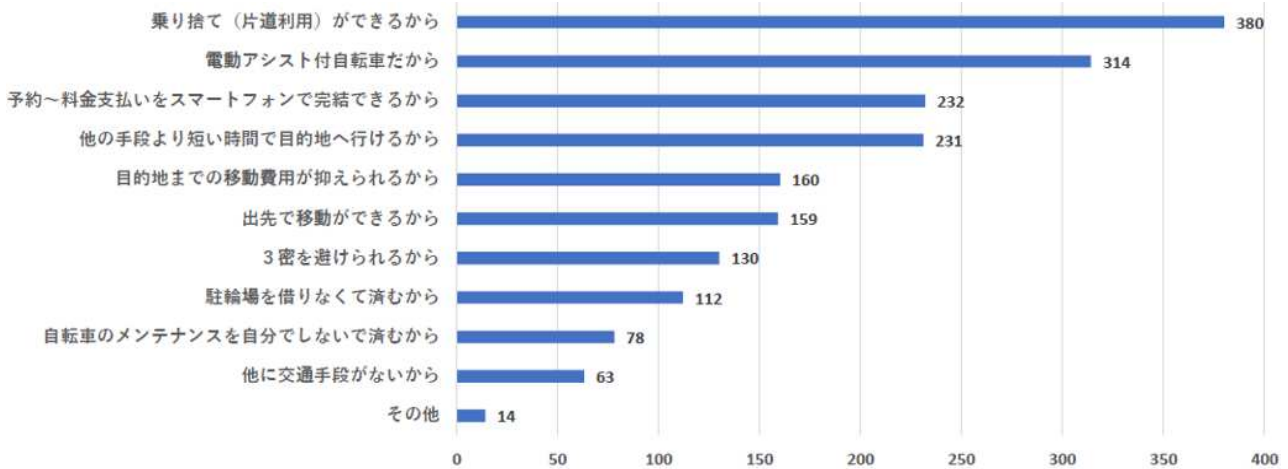
(2) 利用状況について

- ・ 利用頻度は月1回以下及び2～3回と回答したものがそれぞれ39%であり、「片道利用(乗り捨て)ができること」や「電動アシスト自転車であること」が使う理由の上位となっている。
- ・ 利用者の約半数は自転車を所有している。また、シェアサイクルがなかった場合の交通手段については、「電車」「徒歩」と答えた方が多い一方、「自家用車」や「バイク」と答えた方は少ない。
- ・ シェアサイクルの利用により、利用者の22.8%が「外出頻度が増えた」と回答している。

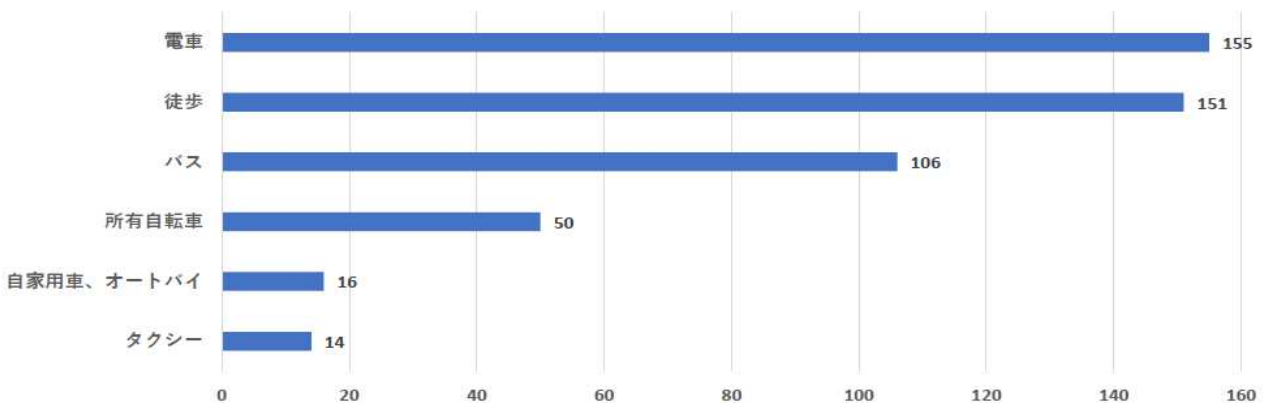
【利用頻度】



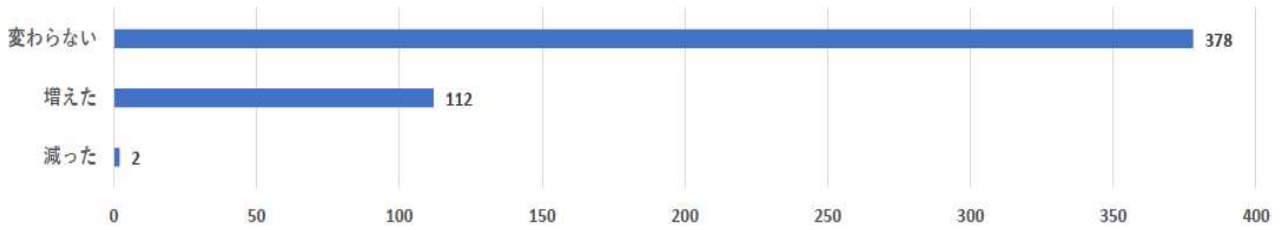
【利用理由】 複数回答可



【シェアサイクルがなかった場合の交通手段】



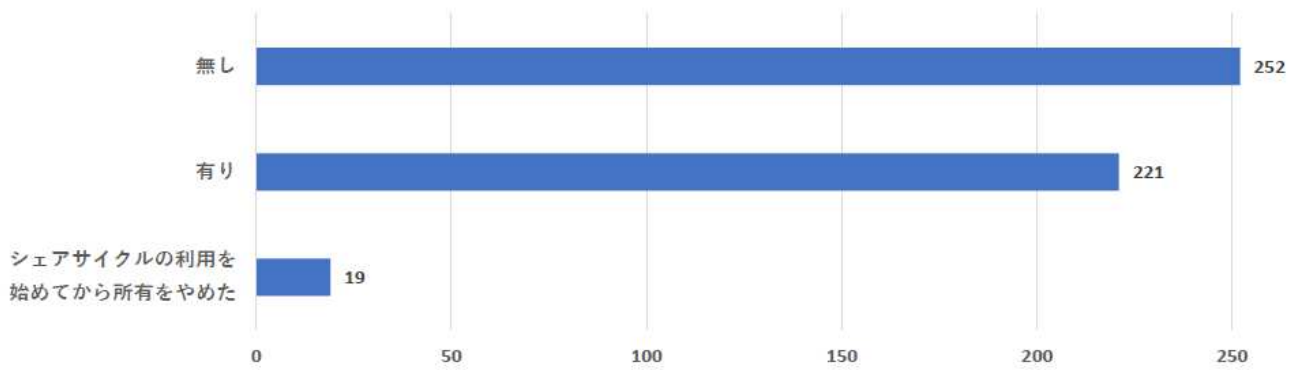
【外出増加の有無】



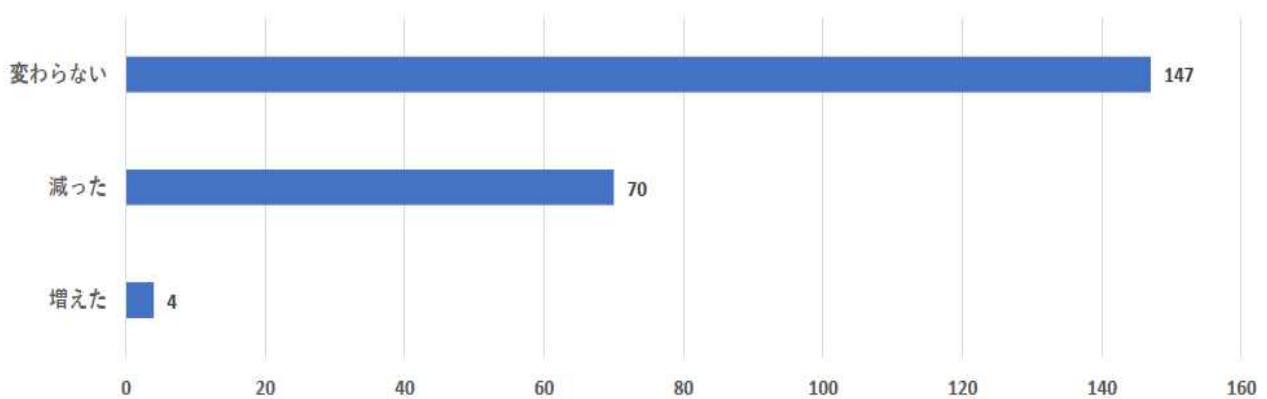
(3) 自己所有自転車について

- ・ 45%が自転車を所有しており、その多くがシェアサイクル利用を始めてからも「自己所有自転車の利用状況は変わらない」と回答している。
- ・ 一方で、自転車を所有していない利用者も多い。また、シェアサイクルの利用により自転車の所有をやめた人もいる。

【自己所有自転車の有無】



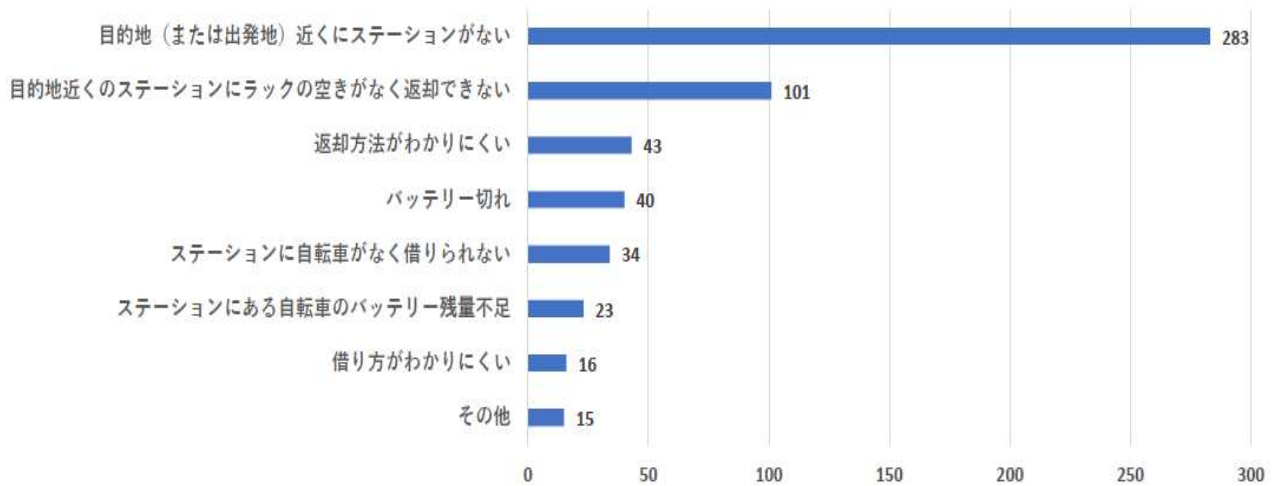
【自己所有自転車利用の変化】



(4) その他

- ・ 困ったこととして、「目的地や出発地にステーションがないこと」、「ラックの空きがなく返却ができないこと」が挙げられている。
- ・ また、利用者の多くは、ステーションの設置箇所の拡大や既存ステーションの拡充を望んでいる。
- ・ 自由意見では、「駅から遠いところにもステーションが欲しい」、「区内の南北動線の円滑な移動としてのシェアサイクルへの期待」等があった。

【シェアサイクルを利用して困ること】 複数回答可



【シェアサイクルに望むこと】

